

地域での取り組み【2021年度の状況】

つながる力 たすけあう心で、次の100年へ

買い物行こカー 店舗への送迎車

「買い物行こカー」は、2016年度に始まりました。現在、**27台 30店舗**まで広がり、年間でのべ**10万6744人**が利用しています。

高齢者の悩みは、「いつまでも安心して暮らしていける」これに生協が積極的に関わってほしい。

買い物行こカーや、移動店舗をもっと必要とされる時代がくる。広げてほしい。



「移動店舗」は、都市部でも必要になっている。

この地域ではスーパーがなく、買い物に困難な人が多い。

コミュニティ食堂 子ども食堂

地域と連携して運営する、「コミュニティ食堂」や「子ども食堂」が広がっています。現在、**39カ所**で運営しています。(休止中含む)

地域の方と「ふれあい広場」のような場で、一緒に食事ができるといい。



お互いに参加するという意識で、「これなら私もできるのでは」と思える場を作りたい。

困っている人の声と、助けたいと思っている人と結びつける仕組みづくりを。



つながりや、つどえる場を生協が作り出すことが、地域づくりに発展していくと感じる。

地域の居場所・つどい場

「ふれあい喫茶」など、コープサークルが運営する「つどい場」づくりの取り組みが進んでいます。「ふれあい喫茶」は現在、**約85カ所**に広がっています。(休止中含む)
「居場所・つどい場立ち上げ支援助成制度」は、2016年度に始まりました。2021年度は、**9カ所**立ち上げられました。

コミュニティの再生のために、地域のメンバーとして、参加を求められている。

「地域づくり」の視点、もっと地域との連携を深めていく必要がある。

地域つながるミーティング

「地域との「出会い」の場、仲間との「協働」の取り組みが生まれ続ける場」をめざす、「地域つながるミーティング」は、行政や社会福祉協議会、地域の活動者への参加を呼びかけています。現在、**約7割の会場に、地域の諸団体が参加**。生協や地域のことなど、さまざまなテーマで話を進めています。

地域コーディネーター

地区よりさらに小さい単位で、よりきめ細やかに地域連携と組合員参加の促進に取り組む、「地域コーディネーター」は、2018年度に始まりました。現在、**5人の「地域コーディネーター」が、地域で活動しています**。

移動店舗

「移動店舗」は、都市部でも買い物に不便を感じている方がもっと利用できるように、軽四車両を導入するなど、改善に取り組んでいます。現在、**9台 506カ所**、年間でのべ**12万5394人**が利用しています。



買い物支援ボランティア 組合員が、組合員の買い物のお手伝い

「買い物支援ボランティア」は、2016年度に始まりました。現在、**16の店舗**で取り組んでいます。(休止中含む)



店が近づく、宅配は命綱。宅配がなくなったら生活できない。

体力がなくなって、台所仕事も少し減る取り組みがあると良い。

まいくる

栄養バランスに配慮した夕食弁当をお届け

「まいくる」は、メニューの充実や、冷凍おかず(冷凍まいくる)のおすすめなど、組合員のくらしに寄り添って、改善に取り組んでいます。現在、**1日 9260食**の利用があります。

地域めーむひろば

店舗以外の場所で、宅配商品の受け渡し

地域の企業の事業所などで、商品の受け渡しをする「地域めーむひろば」は、2018年度に始まりました。現在、**25カ所**に広がっています。



健康づくり

兵庫県生協連や医療生協など、地域の協同組合と連携し、健康づくりに向けた取り組みの習慣化をめざす、「健康チャレンジ」が、2018年度から始まりました。2021年度は、**4395人**が参加しました。

健康寿命を延ばすよう社会全体で取り組みを推進しなければ。

お米を贈ろう 助け合い募金

コロナ影響で広がる社会不安を少しでも和らげたいと願い、2022年3月に集中募金を実施。**約700万円の善意**が寄せられました。

集まった募金でお米を調達し、地域のさまざまな団体に提供していきます

フードドライブ

家庭で余った食品を持ち寄って、フードバンクや子ども食堂などに提供する「フードドライブ」は、2017年度に始まりました。2021年度からは店舗で**常時受付**をしています。

集まった食品は現在、地域の**222の**さまざまな団体に提供しています。



マイバッグ運動が定着したように、社会的意義のある活動を。

「食品ロス」の問題は、生協が率先して取り組むべき。

助け合いのしくみ

コープくらしの助け合いの会(兵庫県内)
助け合い制度
コープむつみ会(大阪北地区)

地域住民の助け合いによって自立したくらしを支える有償の家事支援活動です。2021年度は、**のべ2358人が活動し、のべ2891人が利用**しました。

たすけタッチ

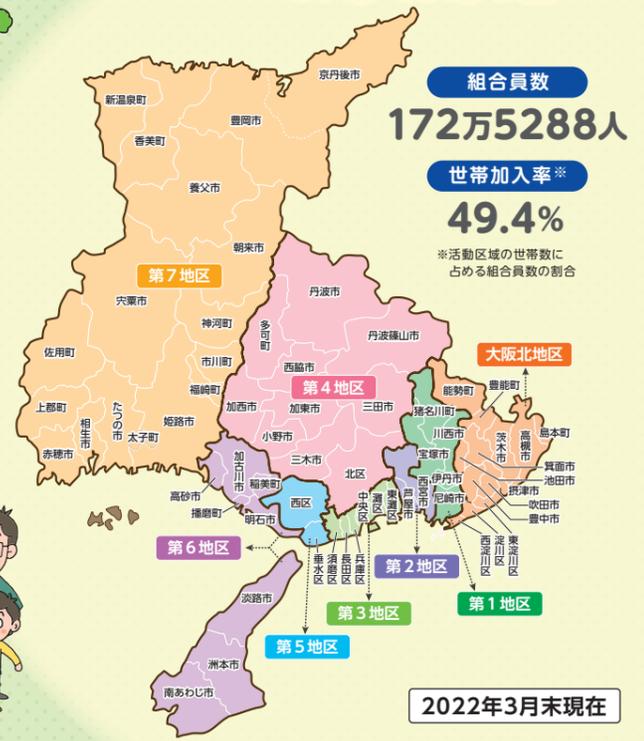
「ゴミ出し」など、ちょっとした困りごとをアプリの機能を使ってご近所同士で解決する取り組みが2021年1月に始まりました。手助けしてほしい組合員と手伝える組合員がつながって実施されたたすけあいは、2021年度末まで**467件**になりました。

できるときに、できる人が、できることを、ちょっぴりお手伝い。



コープこうべの活動区域

37市 15町 3区



各地区でひろがるホットな地域との連携事例を定期的にお伝えしていきます♪

ち ☆ れ ☆ ん ニュース

2022年
12月

大阪北地区本部・コープ茨木白川・協同購入センター高槻

地域と協働した「つどい場づくり」にチャレンジ ～地域の方のリアルな声を聴くことからスタート～



合言葉は「地域をつなGO!」♪

コープこうべの事業所を活用した「つどい場づくり」の取り組みがすすんでいます。

コープ茨木白川では、店内のスペースを「つどい場」として活用すること、協同購入センター高槻では、組合員集客室を地域に開かれた活動の場とすることにチャレンジ。隣接する両事業所が連携して取り組みをすすめています。

10月、地域課題を「知る」ことを目的に、「地域をつなGO! ～ハロウィンイベント～」を開催。コープこうべの「地域つながるミーティング(※1)」で、多様な地域団体・活動者と話し合い、イベントを企画しました。イベント当日は、協働団体による、「血管年齢測定」や「地域の相談窓口」などのブースに加え、来場者に対するアンケート「皆さまがお住いの地域の課題を教えてください」を実施。計124件の意見が寄せられ、「独居高齢者の増加」や「つながりの希薄化」など様々な地域課題が見えてきました。

今後は、各地域課題共通のキーワードである「健康」に着目した取り組みの推進や、対象者を明確にした小規模イベントの定期開催を計画し、協働団体とともに地域を盛り上げていきます。

【協働団体一覧(順不同)】

- いきいきネット相談支援センターエルダー
- 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会
- 明治安田生命保険相互会社
- 茨木市東保健福祉センター
- 東・白川 地域包括支援センター
- 高槻市三箇牧地域包括支援センター
- 白川民生委員
- 新堂民生委員
- 白寿会
- 茨木白川コープ委員会



「お住まいの地域の課題を教えてください」♪

第7地区本部・コープテイス豊岡

「つどい場」での活動を再開 ～コロナ禍での活動制限を糧に～

コープテイス豊岡では、コロナ禍でやむなく閉鎖していた「つどい場」での活動を再開し、店内に誰もが立ち寄りやすい居場所づくりを行っています。つどい場再開は、「子どもを遊ばせる場所に困っている」、「キッズスペースの再開を待っている」という組合員の声がかっけでした。地域の子育て家族をサポートしたい思いから、キッズスペースを再開。福祉作業所をはじめ地域の協力による絵本の本棚設置や、但馬薬剤師会による子ども向けの調剤体験イベントの開催など、地域の方々と一緒に「つどい場」を盛り上げています。まずは「誰もがふらっと立ち寄れて一息つける場」、「個人や団体の自己実現の場」として、つながりを強化しながら、つどい場関係者の輪を広げていきます。



子ども向け調剤体験イベントのようす♪



地域の協力のもと絵本の本棚を作りました♪

※1「地域つながるミーティング」

コープこうべが主催する地域ミーティングのこと。同じ地域で活動する地域の団体・個人などが集まり、地域の課題や多様なテーマに沿って協働に向けた話し合いを行う。

※2「イザ!カエルキャラバン!」

おもちゃの物々交換(かえっこ)と、楽しくアレンジした防災プログラムを組み合わせた防災イベント。

第7地区本部・コープ上郡

イザ!カエルキャラバン in コープ上郡 ～防災活動をきっかけとした、つながりづくり～



イベント当日の参加人数
■来場者 : 約400人
■運営スタッフ : 約120人 計 約520人

11月27日、コープ上郡で体験型防災イベント「イザ!カエルキャラバン! (※2) in コープ上郡」が開催されました。多くの親子連れが、プログラムに参加し、楽しみながら防災を学んでいました。集めたポイントでおもちゃを獲得する「かえっこオークション」では、子どもたちの元気な声が会場に響き渡っていました。

運営には、平和・防災企画委員会を含む15の地域諸団体が携わりました。事前準備や当日の運営を通し、多くのつながりが生まれ、上郡地域の団結力が一層深まりました。

第7地区本部では、今回のイベントで出来たつながりを活かし、上郡地域の困り事解決に向けた話し合いの場を設定。地域の助け合いの仕組みづくりを視野に、活動を広げていきます。



「毛布で担架タイムトライアル」のようす♪



大賑わいの「かえっこオークション」♪

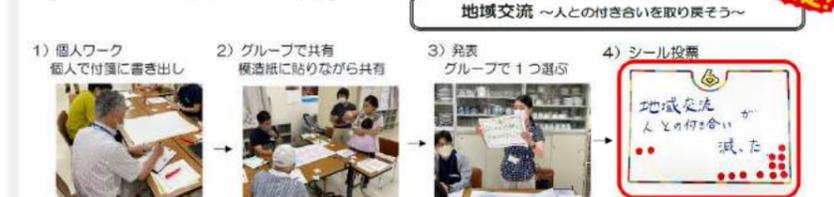
第6地区本部・コープ大蔵谷

地域つながるミーティング発「高齢者向けスマホ教室」を計画 ～デジタルをきっかけとした、つながりづくり～

第6地区本部では、「地域つながるミーティング(※1)」発の地域協働の取り組みが生まれてきています。参加者の意見を具体化するために、発表内容を可視化するなど、ミーティングの進行方法にも工夫を行っています。(下記表参照)

コープ大蔵谷では、「幸せな高齢者ライフ」を送るための「つながりづくり」を目的に、「高齢者向けスマホ教室」の開催を計画しています。地域つながるミーティングに参画する協働団体のネットワークから、地元の看護専門学生の参画も決定。「つながり」から「つながり」が生まれています。スマホ教室以外にも、学生による「健康相談」や「好きなコープ商品を語り合う」場を設定するなど、参加者同士の交流が深まるきっかけとなることを目指します。

【ミーティング進行の工夫(例)】



みんなで意見を出し合います♪